

いすみ市大原海岸日在浦地区及び大原漁港海岸
海岸づくり会議 地区勉強会（東海地区）

会議録（意見交換要約版）

日時： 令和6年10月24日（木）
午後6時30分～午後8時7分
場所： いすみ市役所3階 大会議室

5 意見交換

○出席者 A（北日在）

北日在地区の下道といわれる人口が多く住んでいる道路の高さはほとんどが 6 m 以上で 5.8m 程度の津波であるならば人家まで来てないので、防潮堤は必要ない。

ソフト面で日在城跡に宿泊なり二次避難ができる避難所を要望しようと考えております。

また、砂浜とサイクリング道路の高低差がある箇所に海岸利用者の迅速な避難を確保する為の階段を設けてほしい要望書は提出しました。

○市 危機管理課 B

市では基本的に一時的に避難する、一時的に命を守る場所という観点で、そこに長時間滞在するという想定をしていないです。すべての避難所に同様の施設を建設するには費用及び用地の確保が困難というのが実情です。

○出席者 B（深堀）

浸水予想図では塩田川の両岸の浸水が多い、堤防とか対策はどうなっているか。

塩入公園から国道方向への道路が狭く車両のすれ違いができないことから、拡幅してもらえないか。

津波避難道路として計画に入れることは可能か。

○夷隅土木事務所 A

塩田川の護岸嵩上げ等の関係は海岸の整備方針を設定して、それに整合するような形で検討する。

○市 建設課

昨年実施した避難道路 3 路線については、用地を新たに確保しないで広げられたというのが一番大きなメリットであり、この路線も用地が確保できるのであれば、区と相談する。

○市 危機管理課 B

この路線は浸水区域内であり、河川沿いの浸水区域に向かつての避難道路としては想定していない。

○出席者 C（深堀）

津波対策として避難道路の整備が有効だと思うが、国道若山交差点から海側の計画道路（都市計画道路）が、事業が止まっているような状況で強制収用とか考えはないか。

○市 建設課

用地の確保が難しい所で現在事業は止まっている状況です。用地の確保が可能であれば、事業再開の考えはあり用地の協力の取り付けが課題になっている。

○出席者D（北日在）

避難場所が国道の西側であり、地震発生に伴う停電時の国道の信号対策。

信号機の機能停止の場合、車両による国道への合流は困難、避難場所まで車で行けず、歩かざるを得ない。

○市 危機管理課A

令和元年の台風停電被害を踏まえて、予防伐採等も実施して停電が起きないような対策もしている。

その他にも避難道路の整備に合わせて避難誘導灯、24時間バッテリーで目安になる誘導灯の方も路線に従って整備をし、行き届かないところもありますが一つずつ取り組んでおりますので、ご理解いただければと思います。

○市 危機管理課B

信号機全部にバッテリーをつけるのは無理です。津波のハザードマップで示されている中では、日在、深堀、若山は、国道128号まで逃げれば被害がないというような浸水想定で、徒歩で逃げられるように停電時においても目標物を見失わないようにバッテリー付き照明という形で国道まで整備させていただいております。

○出席者E（若山）

防潮堤を作るとというのが前提になっているが、今のサイクリング道路の前に堆積している土砂を撤去するという案はないか。

北日在から、「防潮堤はいらない」というお話もありましたが、やはり人命は大事ですから、その辺ももう少し考えてもいいと思う。

○夷隅土木事務所B

堆砂対策は、具体的な事業実施時に自転車道を含めて対応を考えていきます。

○出席者F（深堀自主防災）

深堀は海拔で2.4mから5.5mで松林まで津波が来る。検討会もいいが、いつ頃工事に着手して完成ができるのか。

○夷隅土木事務所C

皆様の意見を聴き検討していくので、この場で明確に「いつ」という回答はできない。

○出席者D（北日在）

防潮堤で海が見えなくなるのであれば、一つの案としてサイクリング道路を廃止して防潮堤をサイクリング道路にすれば海が見える。

○市 建設課

昨年の海岸づくり会議の意見交換会でも、大切な観光資源とサイクリング道路を最大限活用した位置に建設できないかという意見もありました。

○出席者 A（北日在）

北日在には海岸線に並行する河川があるが、津波が防潮堤を超えた場合や夷隅川から遡上した場合、防潮堤があることにより津波が戻れない箇所がいくつかある。それを考えると防潮堤は誰を守るためなのか、今あるもので対応してソフト面を重視しながら海岸線は残していただきたい。

○司会

第1回の会議の時に、この防潮堤の建設位置について議論があり、仮に防潮堤を作る場合、前の砂浜か後ろの保安林の方に下げて自転車道を嵩上げたほうがいいのか、そこに対してご意見がありましたらお願いします。

○出席者 E（若山）

サイクリング道路を利用して嵩上げた方が、費用も若干違うと思う。

○出席者 A（北日在）

サイクリング道路を嵩上げる程度で津波を防ごうと思っていることが理解できない、海岸線は漂砂の影響を受けやすいので、サイクリング道路ではなくて保安林内に防潮堤を作った方が効果はあると思う。

○市 危機管理課 B

防潮堤で防げるとは思っているのではなく、出来たことによって少しでも津波が来るのを遅らせ、時間を稼ぎ、少しでも遠くに逃げるといような考えとしては、この防潮堤はいいと考えます。

○出席者 C（深堀）

深堀は T.P. が低いので、サイクリング道路の嵩上げを要望したい。

塩田川沿いが相当津波の被害を受ける、川沿いの嵩上げが重要になると思う。

○夷隅土木事務所 A

塩田川の護岸の嵩上げは、海岸の方の対策の方針が決まりましたら、それに整合するような形で検討していく。

閉会 午後 8 時 7 分